

CASE 11

乳牛の暑熱ストレス対策の機械化で人件費削減&人手不足解消

有限会社 森末牧場（業種：農業）

所在地：仲多度郡まんのう町後山字道南13-1 電話：0877-89-6144 URL：<https://morisue-farm.com/>

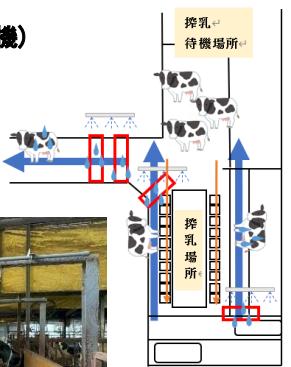
会社概要

- 昭和51年、初代事業者であった祖父が生乳生産を主体とし乳牛3頭でスタート。その後、平成15年に現社長への事業継承を機に法人化。当時成牛30頭から、現在はホルスタイン、育成、和牛と約900頭まで拡大。
- 当初の生乳生産だけでなく、和牛繁殖・育成、受精卵販売、子牛販売、堆肥販売、粗飼料生産と範囲を広げることで、経営基盤を安定させる努力を続けている。

補助金を活用した取組内容

- 暑さに弱い乳牛は、暑熱ストレスによる悪影響を受けやすく、エサ(飼料)の摂取量の低下、乳量低下、繁殖機能の低下などが問題となるため、従業員が直接ホースで牛体に水をかけ、暑熱対策を実施してきた。
- しかし、近年の温暖化の影響で、夏場は猛暑が続き、人手不足の中、人手による暑熱対策に限界を感じている。
- そこで、シャワー(散水機)を導入し、牛の暑熱対策を機械化することで、暑熱対策に関わる人員の削減、固定費の削減につなげる。また、雨水を利用し、節水に取り組むこととした。

導入した設備等の概要

■導入設備
シャワー（散水機）

導入前・課題等

暑熱対策の作業効率化が課題

■設備導入前：人手による牛の暑熱対策を実施

- 従業員が、直接、牛体に水をかける作業時間が膨大
- 作業時間が増加する分、固定費も増加



効果・成果

補助金の活用にあたっての参考ポイント

- 人手による暑熱対策に限界を感じ、設備導入の必要性を検討。
- 当社サポートの専門家に相談し、資金調達手段として活用できる補助金情報を入手した。
- 事業計画を作成する中で、得られる効果を多角的に整理でき、今後のアクションプランがより明確になった。

将来の成長に向けた展望・意気込み

- シャワー設備の導入により単純作業が減少し、これまで十分に時間が確保できなかった見回り(牛の健康管理等)に注力できるようになった。
- 生き物を扱う事業であるため設備導入の効果が即時に表れる場面は多くないが、今後も従業員と協力しながら改善を進め、より良い飼養環境の実現を目指したい。

導入後・改善・効果等

暑熱対策を機械化し解決！

■設備導入後：暑熱対策の自動化

- 人件費、固定費の削減を達成
- 安定的に均一な暑熱対策を実現
- 夏季の乳量減少幅を設備導入前の1/2軽減を期待

